

7部

卒業と
資格・免許状
取得のために

1 平成28年度(2017年)3月卒業希望の方へ

1 3月卒業対象者について

●3月卒業対象者としての登録について

下記(1)(2)いずれかに該当の方は、来年3月卒業希望者として登録いたします。

来年3月に卒業を希望しない方は、本冊子巻末の「卒業延期願」を2/20必着で提出してください。

(1) 来年1月までの「卒業試験」または「卒業研究」に合格(予定含む)した方

(2) すでに「卒業試験」「卒業研究」に合格し「卒業延期願」を提出した際に「2017年3月卒業希望」と記載した方

※ (1)(2)いずれかにあてはまる場合でも、本年8～11月に「社会福祉援助技術(現場)実習」(科目等履修生として実習受講希望の方は除く)、「精神保健福祉援助実習」の申込みを行い受理された方は3月卒業対象者とはなりません。

※ 上記以外で3月卒業を希望する方は書面(様式自由)で通信教育部までお申し出ください。

2 3月卒業のスケジュールについて

上記(1)(2)いずれかに該当し、「卒業延期願」を提出していない方は、3月に卒業の意思ありと判断させていただきます。

今後の卒業までの流れは、下記のとおりとなります。なお、各判定日までに卒業要件を満たした方が卒業可能となります。その他卒業のための諸

期限については、『試験・スクーリング情報ブック2016』p.36をご覧ください。卒業について何か不明な点がありましたら、通信教育部まで書面でご質問ください。

11月25日	履修状況票発送 卒業試験受験済みまたは12月卒業試験申込者にお送りします。3月卒業希望者として登録されていることと不足単位を各自でご確認ください。 ※12/2頃までに履修状況票が届かない場合は至急お申し出ください。
12月14日	1月科目修了試験受験のためのレポート提出期限
12月18日	卒業研究提出期限（福祉心理学科は1/31）
1月15日	第1回卒業判定日 ※レポート提出期限
2月5日	第2回卒業判定日
2月20日	再提出レポート提出期限・スクーリング受講期限
2月25日	第3回卒業判定日
3月17日	卒業式（第3回卒業判定日までに卒業要件を満たした方が出席可能です。）
3月20日	最終卒業判定日
3月31日	3/20卒業確定者 卒業日

●卒業までの学習計画について

『試験・スクーリング情報ブック2016』p.36（または『学習の手引き2012-2016版』p.181）をご確認の上、レポートやスクーリング試験、科目修了試験の結果が出るまでには、約1ヵ月かかることを鑑み、お早めに学習を行ってください。

●卒業研究提出期限

社会福祉学科・社会教育学科：12/18（口頭試問は2/1～9ごろを予定（1/15ごろに通知））

福祉心理学科：1/31（口頭試問なし）

● 8～11月実習申込者

実習の「事前指導・実習・事後指導」受講は同じ学籍番号で履修する必要があります。本年9/15実習申込者は来年3月には卒業できません（科目等履修生出願予定として9/15に実習申込みを行った方を除く）。

● 3月卒業予定者で、来年度「科目等履修生」として「社会福祉援助技術実習」を受講する方

出願締切 1/31（1/31までに卒業要件を確定することも必要（「実習」「実習指導A・B」を除く指定科目の単位修得を含めて））

実習申込 9/15に既に済ませていることが必要です

※巻末の「再入学予定者 事前申告書」の提出も必要（1/31まで）。

※2017年度募集要項を12月上旬以降にお取り寄せください。

2 社会福祉士 取得希望の方へ

社会福祉士関連の問い合わせメールアドレス：uj@tfu-mail.tfu.ac.jp

1 発送物のご案内

発送物	対象者	発送(予定)日
「★■演習A」「◆演習I」スクーリング受講許可証・納入依頼書(および不許可通知)	10月新潟会場申込者	10/2
「★■演習A」「◆演習I」スクーリング結果通知	10月新潟会場受講者	11/30

「実習」「★■実習指導B-3+演習C-2(◆実習事後指導)スクーリング結果通知・(および『実習記録』等)	8・9月受講者	9/30
--	---------	------

2 「★■演習A」「◆演習I」のスクーリング 申込みについて

【対象学年】2年生以上

【開講日：会場】H29. 1/21・22：仙台駅東口キャンパス

【申込締切・受講判定日】11/30必着

【申込方法】本冊子巻末の申込用紙を提出

【受講条件】『レポート課題集A(社福・精保指定科目編)2016』p.136

※今年10月の3年次編入学者は、来年5/31締切の申込みでも、来年度の実習申込み(および2年間での卒業)は可能です。

3 「★■演習B」「◆演習II」のスクーリング 申込みについて

9/15申込締切のスクーリングは10/15で判定を終了しました。

- ・受講条件達成者へ→「受講許可証」「納入依頼書」を発送済み。
- ・受講条件未達成者へ→「不許可通知」を発送済み。

4 来年度(平成29年6月第4週~10月第2週に実施) の「社会福祉援助技術実習」申込みについて

標題の実習申込みは9/15で締め切りました。

※申込受理の判定日は、10/31 or 11/30 or 12/20 or 1/31です。

※申込が受理された方には、各判定日から約2週間で通知(封書)します(12/20判定分は1/10頃発送)。最終判定日(1/31)で受理条

件を満たせなかった方には、その後2週間程度で通知(封書)します。
※受理条件は、『学習の手引き』または『実習の手引き 第1分冊
2016年度版』をご参照ください。

※各締切日後の提出物受付など、受理条件の緩和はありません。

※「実習指導A・B」「演習C」のスクーリングは定員制のため、第1・
2希望の日程・会場で受講したい方は、より早い判定日で申込受理条
件を満たされることをお奨めします(第2希望が未記入の場合は申込
不備として通信教育部で日程・会場を指定いたします)。

3 国家試験を受験する方へ【重要】 (社会福祉士・精神保健福祉士共通)

1 修得単位の管理について

指定専門科目(『学習の手引き』参照)を含む単位修得については、各
自分で管理する必要があります。 スクーリング受講や科目修了試験受験、
レポート提出などに漏れないか、ご自身で確認してください。特に、再
提出になっているレポートや、不合格になったスクーリングや科目修了試
験はないか、留意してください。

ご自身で確認のうえで、ご不明な点は実習係にお問い合わせください。

2 国家試験受験に向けて

国家試験まで残り3カ月を切りました。各自体調管理に留意され計画的
に受験準備を進めてください。受験準備に関することでご不安な点があり
ましたら国家試験受験対策係(goukaku@tfu-mail.tfu.ac.jp)までお気
軽にご相談ください。

4 精神保健福祉士 取得希望の方へ

◆★：旧カリキュラム（平成23年度以前入学者）

■：新カリキュラム（平成24年度以降入学者）

精神保健福祉士関連メールアドレス：psw@tfu-mail.tfu.ac.jp

● 発送物のご案内

科目名・発送物	対象者	発送(予定)日
「■精保演習B-2+実習指導A-2+精保実習B選考試験」スクーリング受講許可通知	「■精保実習A」実習生	10/6
「■精保演習C-2+実習指導B-2」スクーリング受講許可通知	「■精保実習B」実習生	10/6
「◆★精保実習」 受講申込受理判定結果通知	「◆★精保実習」申込者（9/15締切済） で、第1回判定（10/31）合格者	11/5ごろ

【旧・新カリキュラム共通】

● 平成28年度10月期「スタートアップガイダンス」開催について

精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための学習の流れや、実習における心構えなどについて解説する「スタートアップガイダンス」を、主に10月新入生を対象に開催します。詳細は下記の通りです。

《開催日》

①11/5(土) 10:45~11:45

②11/6(日) 15:00~16:00

※①②とも参加自由で、内容は同じです。ご都合に合わせてご参加ください。

《内 容》

- ①精神保健福祉士とは
- ②国家試験受験資格取得のための指定科目について
- ③演習・実習科目について
- ④学習のポイント・実習課題について
- ⑤実習にあたっての諸注意（今から気をつけること）

《会 場》 仙台駅東口キャンパス

《教 室》 当日案内掲示板でご確認ください。

《その他》 個別相談も受け付けます。また、これから精保士を目指す学生（休学者も）の参加も可能です。

【平成23年度以前入学者(旧カリキュラム)の方へ】

1 「◆★精保演習」スクーリング（今年度11月開講予定）について

9/15に申込締切の「◆★精保演習」スクーリングは、12/10・11開講の「■精保演習A」（新カリキュラム）スクーリングとの合同開講となりました。開講日程・時間等は、本冊子4部にてご確認ください。

残念ながら受講不許可となった方は、次回申込期日3/15でお申込みください（申込方法等は、1月発行予定の『With』でご案内いたします）。

2 次年度（平成29年度）「◆★精保実習」の申込について

9/15申込締切の「◆★精保実習」の第1回受講申込受理判定結果は、11/5ごろより対象者に郵送にて通知し、実習受入の内諾依頼調整を開始します。

実習調整にあたり、本学の担当者から実習希望者宛に実習希望時期や実習希望先等を直接確認することがありますので、通信教育部からの着信(022-233-2211)がありましたら、可能な限り折り返しご連絡くださいますよう、ご協力をお願いいたします。

第2回判定(11/30)の結果は、12/5に通知予定です。

【平成24年度以降入学者(新カリキュラム)の方へ】 《実習受講者・実習免除者共通》

1 「■精保演習A」スクーリング(今年度12月・1月開講)を受講希望の方へ

今年度12/10・11またはH29.1/21・22の「■精保演習A」スクーリングを受講希望の方は、11/30までに本冊子巻末の『「■精保演習A」(12月・H29/1月開講)スクーリング受講希望届』にて申込みを行ってください。併せてスクーリング受講条件(『学習の手引き2012-2016版』p.134【条件1】)を満たすよう、計画的に学習を進めてください。

12月の受講となった場合、受講条件判定後の受講許可通知から受講日まで十分な日数がありません。どちらの日程の受講になっても良いように、勤務先等への休暇取得の日程調整にご留意ください。開講日程・時間は本冊子4部または『試験・スクーリング情報ブック2016』をご参照ください。

また、下記に該当する方は、それぞれご留意ください。

- 1) 実習受講の方で、次年度「■精保実習A」の受講を同時に申込み方
→次項3を参照してください。
- 2) 実習免除の方で、「■精保演習B(実習免除者用)」(H29.2/4・5)を同時に申込み方
→12/10・11の「■精保演習A」の受講申込が必須となります。

《実習受講者専用》 （「■精保実習A」(10/1～2/15)関連)

2 今年度「■精保実習A」を受講している方へ

1) 「精保実習A事後指導」の申込みについて

「■精保演習B-2+実習指導A-2+精保実習B選考試験」(精保実習A事後指導)スクーリングの受講申込みは、対象者へ個別にご案内したとおり、9/30で締め切りました。開講日程・時間ならびに諸課題の提出期日等は、本冊子4部または『試験・スクーリング情報ブック2016』を参照してください。受講許可通知は10/6に発送済みです。

2) 実習巡回指導について

現在実習中の方で、実習開始日を過ぎても巡回指導教員と実習指導者との間で巡回指導日の調整が行われていない場合は、至急本学精保実習係宛にご連絡ください。

3 次年度(平成29年度)「■精保実習A」を受講希望の方へ

1) 次年度「■精保実習A」の申込みについて

次年度10/1～2/15の期間に「■精保実習A」の受講を希望する方は、11/30までに下記の用紙を使用し、申込みを行ってください。

- (1) 「精神保健福祉援助実習A受講希望届【様式1】」
- (2) 「精神保健福祉援助実習A課題レポート【様式2】」
- (3) 「精神保健福祉援助実習A受講に向けた学習計画【様式3】」

社会福祉援助技術実習を受講済みの方、または同一年度に受講予定の方は、実習時期についても明記してください。

様式の取り寄せについては、『With』118号p.64をご参照ください。

※様式取得に必要なエントリー用紙の提出：10/31本学必着。

2) 今年度「■精保実習A」の受講を辞退または不許可・中断となった方へ

今年度「■精保実習A」の受講申込を行い、諸条件にクリアできなかった等の理由で受講を辞退または不許可・中断となった方で、次年度「■精保実習A」の再受講を希望する方は、申込みに必要な様式を『With』118号の巻末の様式にて取り寄せ、11/30までに次年度実習の申込みを行ってください（「■精保演習A」は単位修得済みのため、再受講ならびに精保実習A選考試験の再受験は不要です）。

ただし、実習不許可・中断の理由によっては、申込後に面談を実施する場合がありますことを予めご了承ください（対象者には個別に通知します）。

（「■精保実習B」（7/1～12/25）関連）

4 今年度「■精保実習B」を受講の方へ

1) 「精保実習B事後指導」の申込みについて

「■精保演習C-2+実習指導B-2」（精保実習B事後指導）スクーリングの受講申込は、対象者へ個別にご案内したとおり、9/30で締め切りました。開講日程・時間ならびに諸課題の提出期日等は、本冊子4部または『試験・スクーリング情報ブック2016』を参照してください。受講許可通知は10/6に発送済みです。

2) 実習巡回指導について

前項2の2)と同様ですので、そちらを参照してください。

5 次年度（平成29年度）「■精保実習B」を受講希望の方へ

次年度実習B受講に必要な申込みの手続きについては、『With』118号 p. 65をご参照ください。エントリー用紙の提出は、10/31本学必着となっておりますので、ご注意ください。

また、今年度「■精保実習A」の受講が辞退または不許可・中断となった方で、10月末までに平成29年度「■精保実習B」のエントリー用紙を提出された方は、申込みが無効となりますので、ご了承ください。改めて次年度「■精保実習A」の受講を希望する方は、前項3の2）を参照の上、申込みを行ってください。

なお、受講申込が受理された場合でも、最終的な受講判定については3/31の「■精保実習B」【条件4】および次年度4/30の【条件5】、5/31の【条件6】（『学習の手引き2012-2016版』 p. 134参照）を達成する必要があります。計画的に、特に単位修得条件については前倒しで学習に取り組むようにしてください。

《実習免除者専用》

6 今年度「■精保演習B（実習免除者用）」スクーリング（2/4・5開講）を受講希望の方へ

11/30までに本冊子巻末の『「■精保演習B（実習免除者用）」スクーリング受講希望届』の提出と、「■精保演習B（実習免除者用）」申込受理条件である【条件7】が達成されている必要があります（『学習の手引き2012-2016版』 p. 134参照）。

なお、【条件7】の受講条件を達成した方には、『精保実習A課題ノート（実習免除者用）』を12月上旬に送付します。「■精保演習B（実習免除者用）」スクーリングまでに所定の部分までを完成させ、当日持参して提出してください。

なお、「■精保演習A」スクーリングと「■精保演習B（実習免除者用）」スクーリングを同時に申し込む方は、「■精保演習A」スクーリングは12/10・11の受講のみとなります（本冊子巻末の申込用紙 ※2参照）。

今回受講できない場合、修業年数を満たして平成29年9月末または平成30年3月末に卒業を希望する方は、在籍期間がそれぞれ延長（次回平成30年2月*に「演習B」、平成30年5月*に「演習C」を受講して同年9月末に卒業）となりますので、ご注意ください（*：開講月は予定）。

5 教員免許状 取得希望の方へ

来年3月末までの教員免許状申請をめざす方は、申請時期など、都道府県教育委員会にご確認いただき、学習を進めてください。

教員免許状取得希望者は、『試験・スクーリング情報ブック2016』p. 37～38を必ずご確認ください。

次年度実習受講者は平成29年3月または7月の事前指導スクーリングの受講が必要です。

●「障害者教育実習事前指導」受講予定の方へ

下記の実習開始時期に応じて、「障害者教育実習事前指導」スクーリングの受講（連続2日間）が必須です。

事前指導スクーリング申込み時には申込締切日までに『レポート課題集D（特別支援編）』p. 92～93の条件達成が必要です。

事前指導スクーリング 申込締切日	事前指導スクーリング 開講日	実習開始時期
H29. 2/23	H29. 3/25・26	H29. 5月以降
未定	H29. 7/29・30	H29. 10月以降

※「はしかの抗体を有する旨の医師の証明書」のコピーも、事前指導スクーリング申込み時に必要です。早めにご用意ください。

※聴覚支援学校で実習を希望する方は、手話の学習をお願いいたします。

※実習時期は実習校から指定されます。早めに事前指導スクーリングを受講するようにお願いいたします。一度受講した事前指導スクーリングは無効にはなりません。

6 幼保特例講座受講の方へ

●科目修了試験について

ご案内は本冊子3部に掲載されています。

●10月新入生の方へ

『With』118号p.66～68をご参照ください。

特に保育士資格取得希望者で「乳児保育」を履修登録している方は、12/10・11のスクーリング案内が掲載されていますので、ご確認ください。

●10月生webレポート配信について

現在、2016年度に履修登録いただいた科目すべてについて、webレポートの配信を開始しています。未配信の科目がありましたら、通信教育部までご連絡ください。

●すべての単位を修得した方へ

履修登録科目の単位修得を終えた方は、『学習の手引き』巻末様式15or19を使用して学生証返納・修了手続きと、巻末様式8を使用して証明書の発行申込みを行ってください。

幼稚園教諭免許状取得希望者は「学力に関する証明書(手数料600円)」、保育士資格取得希望者は「幼稚園教諭免許所有者保育士試験免除科目専修証明書(特例教科目)(手数料300円)」を申し込んでください。

●継続履修科目のレポート有効期間について

『With』114号でご案内のとおり、履修登録年度に単位修得できなかった科目について、今年度以降、配付された教科書やレポート課題の有効期間は原則2年間となっております。教科書やレポート課題の変更がなければ、そのままの教科書やレポート課題で解答いただけます。

●2014・2015年度に初回履修登録・教科書配本の方へ

下表記載の年度に初めて履修登録した科目について、4月生は2017年4月以降、10月生は2017年10月以降も在籍して履修登録する場合、現行課題では解答できずに、継続（進級）手続き後に送付される新しい教科書とレポート課題にもとづいての解答が必要になります。

対象科目と対象者は下表のとおりです（正科生は教科書代有料）。

対象科目	変更内容	変更対象者
「初等教育課程の意義と編成」	教科書・レポート課題	2014年度履修登録4月生
		2014年度履修登録10月生（一部）
「教育方法論」	レポート課題 ※教科書は変更なし	2014年度履修登録4月生
		2014年度履修登録10月生（2月追加履修除く）
「保健と食と栄養」	教科書・レポート課題	2014年度履修登録4月生
		2014年度履修登録10月生
		2015年度履修登録4月生（一部）
「福祉と養護」「教職論（特例）」「教育社会学（特例）」	教科書・レポート課題	2014・2015年度履修登録4月生
		2014・2015年度履修登録10月生

●保育士資格取得科目「福祉と養護」科目修了試験問題の一部訂正について

『幼保特例講座科目ガイド』に記載の、「福祉と養護」の科目修了試験問題について、一部を訂正いたしましたのでお知らせいたします。

【訂正後の科目修了試験問題】

「児童の権利」の歴史的展開を説明するため、以下の語句を必ず文中に用いて、1,200字程度で論述してください。また、用いた箇所に下線を引いてください。

(児童権利宣言(1959年)、最善の利益、受動的権利、能動的権利、児童の権利に関する条約)

※語句の一つめが、「児童の権利宣言」→「児童権利宣言(1959年)」に訂正されました。

※12月の科目修了試験からは、訂正後の問題が出題されます。

※10月の科目修了試験受験者は、本訂正(明確化)の部分については、採点に不利益の無いようにいたします。

スクーリング・アンケートより(3)

アンケートより、スクーリング講義の感想を抜粋しました。

●社会保障論 阿部 裕二 仙台

- ・興味深い理解しやすい事例があり、身近に感じながら学ぶことができました。敬遠したい苦手な分野だったが、とても生活に関わりがあり知っていることで役立つことが理解できた。より一層学びたいと感じた。
- ・丁寧に説明してもらえたことで、分かりやすく理解することができた。資料が見やすく、今後の試験対策に活用できると思った。

●カウンセリングⅡ 萩原 豪人 仙台

- ・先生ご自身のスクールカウンセリングの経験談をたくさん聞かせていただいたことで、改めて、大学院進学を含めた、スクールカウンセリングへの希望を高めることができました。カウンセラーの魅力を伝えていただいた授業だったと思います。
- ・カウンセリングにおける6つのプロセスがあり、それぞれのプロセスにも奥が深いものであると知ることができました。また、事例を交えての講義であったため、非常に分かりやすく理解しやすかった。

●知的障害者福祉論 赤塚 俊治 東京

- ・先生の熱意を感じることができる講義でした。知的障害者の生きづらさを考えさせられました。私たちに何ができるのか、それは「障害」という概念を取り払い、同じ人として接することではないかと考える反面、それを社会が難しくしたのだと改めて考えさせられた。

●保健医療サービス論 山本 邦男 盛岡

- ・現在精神保健福祉士の資格取得を目指している者です。専門用語や変遷など学習に困っていましたが、国家試験を意識した資料解説などがありとても学びが深まりました。
- ・保健医療は身近なものでありながら、実は様々な制度であらゆる世代、障害、病気に対して手厚く決められていることが分かりました。それらの制度を正確に理解していなければ、専門職としてよい支援にはならないことを痛感しました。分からなかったことを勉強し、吸収していく姿勢をもっていきたいです。